

只木ゼミ後期第1問検察反対尋問レジュメ

文責:2班

I. 反対尋問

- 5
1. 弁護側は、財物奪取の意思があつて殺した場合の時はどうに考えているか。
 2. 弁護側レジュメの学説の検討イ説(法益的關係錯誤説)において、死を認識し、強制なく自由な意思決定をしていればその自殺意思は有効であるとしているが、例えば専ら殺すつもりで相手を積極的に騙して自殺をさせた場合はどのように考えるか。

以上